

ウォーターPPPの導入に向けた取組について

1 概要

本市では下水道事業の持続可能性を確保することを目的とし、「ヒト・モノ・カネ」の各課題へ対応するため、現在、ウォーターPPPの導入に向けた取組を進めており、その取組状況について報告します。

2 対象処理区及び対象施設について

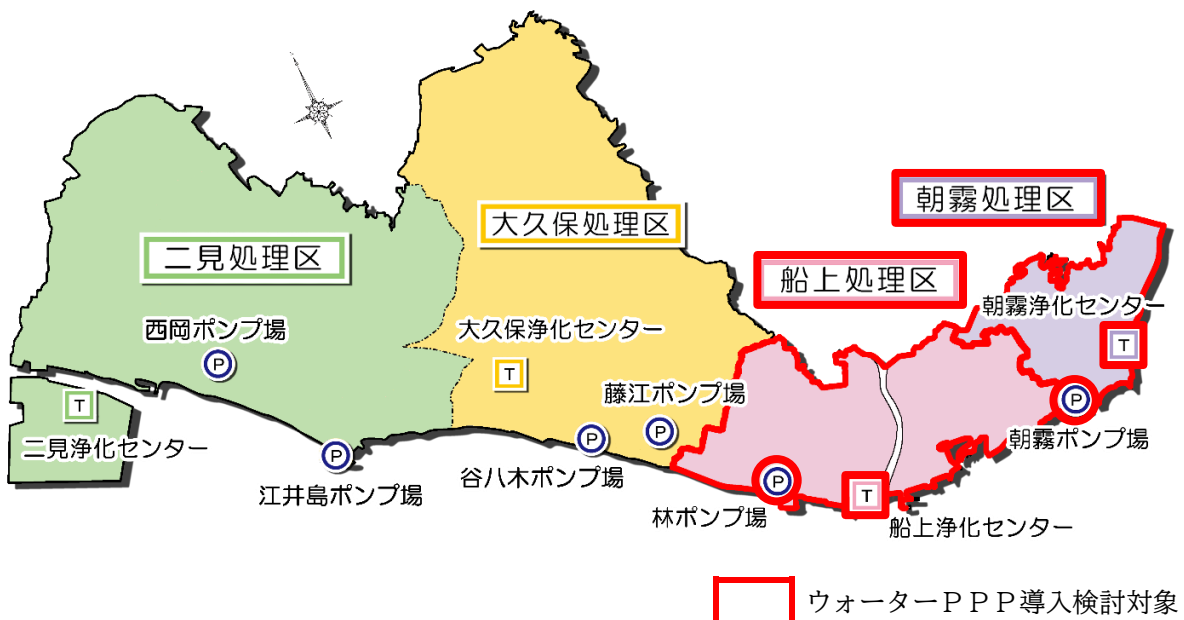
ウォーターPPPの導入検討は、少なくとも一つの処理区を選択し、そのすべての施設(管路・ポンプ場・処理場)とすべての業務を対象として進めることとされております。

(1) 対象処理区

本市における対象処理区の選定を行った結果、「朝霧処理区」及び「船上処理区」を対象とし、「管理・更新一体マネジメント方式【レベル3.5】」の導入に向けて、検討を進めていくこととしました。

(2) 対象施設

上記(1)を踏まえ、民間事業者に対してサウンディング調査(市場調査)を実施した結果、「ポンプ場・処理場(朝霧ポンプ場、林ポンプ場、朝霧浄化センター、船上浄化センター)」を対象とし、引き続き検討を進めていくことになりました。



3 今年度の取組状況

(1) 第1回サウンディング調査

目的：本市のウォーターPPP導入に関する民間事業者の意向等を把握する。

方式：指名アンケート方式（対象事業者に調査票等をメール送付し、回答フォームまたは電子メールにて回答）

日程：令和7年12月8日(月)～令和8年1月9日(金)

対象：38社（うち市内業者28社）

※本市下水道事業における主要業務の受注実績のある民間事業者

回答：26社（うち市内業者18社） 回答率68%（市内業者64%）

※主な回答内容は別紙のとおり

(2) サウンディング調査説明会

日程：令和7年12月17日(水)、18日(木)、19日(金)（全3回）

対象：上記（1）の対象事業者

参加：18社（うち市内業者11社）

(3) 第2回サウンディング調査

目的：第1回サウンディング調査結果を踏まえ、対象施設を示した上で、ウォーターPPP導入に関する民間事業者の意向等を把握する。

方式：公募型アンケート方式（明石市ホームページにて公募し、回答フォームまたは電子メールにて回答）

日程：令和8年1月30日(金)～令和8年2月27日(金)

回答：16社（うち市内業者3社）

(4) 市職員に対する①課題アンケート調査及び②ABC分析※調査

目的：①下水道事業における課題を抽出し、その重要度及び緊急度を整理する。

②下水道事業において、人的リソースがどの業務にどれだけ費やされているかを定量的に整理する。

上記①②を活用し、ウォーターPPP導入効果の評価を行う。

日程：令和8年2月9日(月)～令和8年2月27日(金)

対象：下水道事業に従事する全ての市職員

※ABC（Activity-Based Costing：活動基準原価計算）分析とは、企業活動を個々の活動に分類し、細分化した「活動ごとの原価」を算出する管理会計手法

4 今後の予定※1

令和8年3月 個別ヒアリング（第2回サウンディング調査に回答いただいた事業者）

対象範囲及び事業スキーム決定

令和8年度 入札公募準備、入札公募※2

令和9年度 事業者選定、契約・引継ぎ

令和10年度 事業開始

※1 上記は現段階の予定であり、今後の検討状況により変更となる場合があります。

※2 入札公募をもって「ウォーターPPP導入を決定済み」とみなされます。

明石市ウォーターPPP 導入検討に係る 第1回サウンディング調査（指名アンケート方式）結果

1 調査概要

(1) 実施スケジュール

本サウンディング調査（以下「本調査」という。）は、直近3か年及び今年度に、本市下水道事業における主要業務の受注実績のある民間事業者にご協力をお願いし、アンケート方式により、以下に示すスケジュールで実施しました。

内容	日程
調査票等の配布	令和7年12月8日(月)
調査に関する説明会	令和7年12月17日(水)～19日(金)
調査票の回収期限	令和8年1月9日(金)

(2) 調査票の配布及び回収方法

①調査票の配布

本調査の対象事業者には、事業概要説明書及びアンケート調査票を電子メールで配布しました。

②調査票の回収

本調査の回答は、回答フォームまたは電子メールで受け付けました。

(3) 設問

本調査では、以下の設問についてお尋ねしました。なお、回答者が特定されることを避けるため、回答内容の公表については黄色に着色した設問に限定し、個別意見等の公表は差し控えさせていただきます。

設問	設問番号
1 公共下水道事業における実績について	問 1-1 問 1-2 問 1-3
2 ウォーターPPP 事業への参画意欲について	問 2-1 問 2-2
3 対応可能な業務範囲について	問 3-1
4 事業の対象範囲について	問 4-1 問 4-2 問 4-3 問 4-4
5 レベル 3.5 の形式（更新支援型、更新実施型）について	問 5-1 問 5-2 問 5-3 問 5-4
6 ウォーターPPP（レベル 3.5）の4要件について	問 6-1 問 6-2 問 6-3 問 6-4
7 市内業者の参画について	問 7-1
8 公募スケジュールについて	問 8-1 問 8-2
9 公募時の必要資料について	問 9-1
10 今後の調査への協力可否について	問 10-1
11 その他	問 11-1

2 アンケート調査結果（概要）

(1) 回答数

本調査は、処理場・ポンプ場の運転・維持管理業者や修繕・工事業者、管路施設の点検・調査業者や修繕・工事業者、浚渫・清掃業者、コンサルタントといった幅広い分野の民間事業者 38 社にご協力をお願いし、うち 26 社から回答をいただきました。

(2) 設問ごとの集計結果

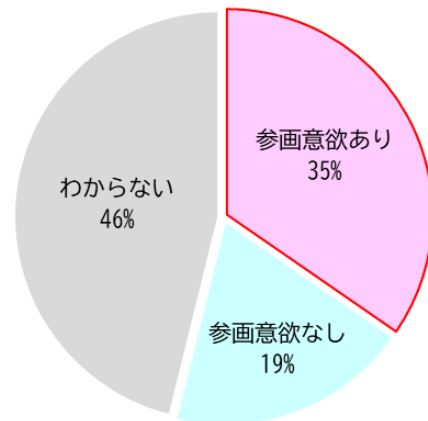
各社からの回答について、設問ごとの構成比率を以下に示します。

1 公共下水道事業における実績について													
<p>問 1-1 全国の公共下水道事業における官民連携事業（包括的民間委託、PFI 事業等）への参入状況についてご回答ください。【いずれか1つ】</p> <p>a. 事業を受託し、完了したことがある。 b. 事業を完了したことはないが、現在受託中である。 c. 事業を受託したことはないが、公募・入札に参加したことはある。 d. 公募・入札に参加したことはないが、参加を検討したことはある。 e. 特に検討したことはない。</p>	<table border="1"> <caption>問 1-1 の回答構成</caption> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完了実績あり</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>受託中</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>入札参加実績あり</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>入札参加実績なし</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>実績なし</td> <td>58%</td> </tr> </tbody> </table>	回答内容	割合	完了実績あり	19%	受託中	4%	入札参加実績あり	19%	入札参加実績なし	0%	実績なし	58%
回答内容	割合												
完了実績あり	19%												
受託中	4%												
入札参加実績あり	19%												
入札参加実績なし	0%												
実績なし	58%												
<p>問 1-2 上記で「a. 事業を受託し、完了したことがある。」または「b. 事業を完了したことはないが、現在受託中である。」を選択した場合について、実施した自治体名、事業名、事業期間をご回答ください。(最大3件まで)</p>	<p>回答省略</p>												
<p>問 1-3 問 1-1 で「a. 事業を受託し、完了したことがある。」または「b. 事業を完了したことはないが、現在受託中である。」を選択した場合について、事業参画時の体制をご回答ください。【複数回答可能】</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績のある事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 単独での参画</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>b. グループの代表企業として参画</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>c. グループの構成企業として参画</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>d. グループの協力企業としての参画</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>e. 下請け企業（再委託企業）として参画</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績のある事業者	a. 単独での参画	12%	b. グループの代表企業として参画	15%	c. グループの構成企業として参画	15%	d. グループの協力企業としての参画	4%	e. 下請け企業（再委託企業）として参画	4%
区分	実績のある事業者												
a. 単独での参画	12%												
b. グループの代表企業として参画	15%												
c. グループの構成企業として参画	15%												
d. グループの協力企業としての参画	4%												
e. 下請け企業（再委託企業）として参画	4%												

2 ウォーターPPP 事業への参画意欲について

問 2-1 本市では、公共下水道事業4処理区のうち、朝霧処理区及び船上処理区を対象にしてウォーターPPP（レベル3.5）を導入することを検討しています。ウォーターPPPを導入した場合、ウォーターPPP 事業への貴社の参画意欲についてご回答ください。【いずれか1つ】

- a. 参画意欲がある。
- b. 参画意欲はない。
- c. わからない。



問 2-2 上記で「b. 参画意欲はない」または「c. わからない」を選択した場合、その理由についてご回答ください。【自由記載欄】

回答省略

3 対応可能な業務範囲について

問3-1 ウォーターPPP事業において、貴社が対応可能な業務についてご回答ください。
【複数選択可能】

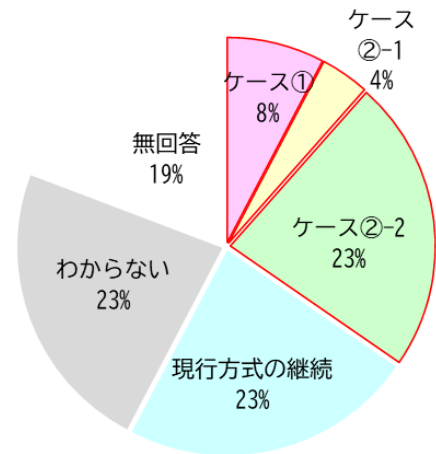
区分	業務	対応可能な事業者
処理場・ ポンプ場施設 ※マンホールポンプ 含む	統括管理	15%
	維持管理（運転管理/水処理）	15%
	維持管理（運転管理/汚泥処理：下記以外）	15%
	維持管理（運転管理/汚泥処理：焼却）	15%
	維持管理（運転管理/ポンプ場）	15%
	維持管理（保守管理/水処理）	15%
	維持管理（保守管理/汚泥処理：下記以外）	15%
	維持管理（保守管理/汚泥処理：焼却）	15%
	維持管理（保守管理/ポンプ場）	19%
	維持管理（浚渫）	15%
	維持管理（廃棄物収集運搬）	15%
	維持管理（修繕・保全工事）	38%
	改築更新（設計）	12%
	改築更新（土木・建築・建築設備工事）	12%
	改築更新（機械工事）	27%
	改築更新（電気工事）	23%
ストックマネジメント計画策定支援	12%	
管路施設	統括管理	4%
	維持管理（点検・調査）	31%
	維持管理（浚渫）	23%
	維持管理（修繕・開削）	19%
	維持管理（修繕・非開削）	19%
	改築更新（設計）	4%
	改築更新（工事・開削）	12%
	改築更新（工事・非開削）	12%
	ストックマネジメント計画策定支援	4%
	苦情一次対応	4%
その他	【自由記載欄】	回答省略

4 事業の対象範囲について

問 4-1 本市がウォーターPPPを導入する場合、望ましいと考えるケースについてご回答ください。
【いずれか1つ】

- a. 【ケース①】が望ましい。
- b. 【ケース②-1】が望ましい。
- c. 【ケース②-2】が望ましい。
- d. 現行の維持管理方式の継続が望ましい。
- e. わからない。

※各ケースの詳細については次頁を参照

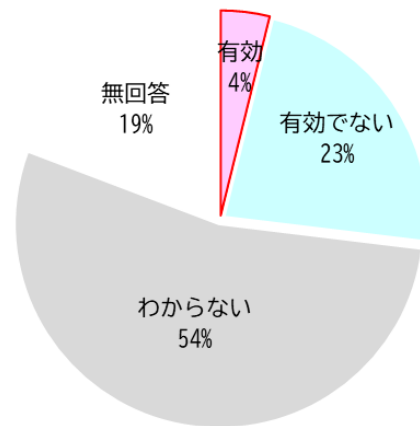


問 4-2 上記回答理由や補足説明についてご回答ください。
【自由記載欄】

回答省略

問 4-3 処理場・ポンプ場施設（マンホールポンプ含む）の維持管理と管路施設の維持管理を一体的な事業とすることは、本市にとって有効と考えられるかご回答ください。【いずれか1つ】

- a. 有効である。
- b. 有効ではない。
- c. わからない。

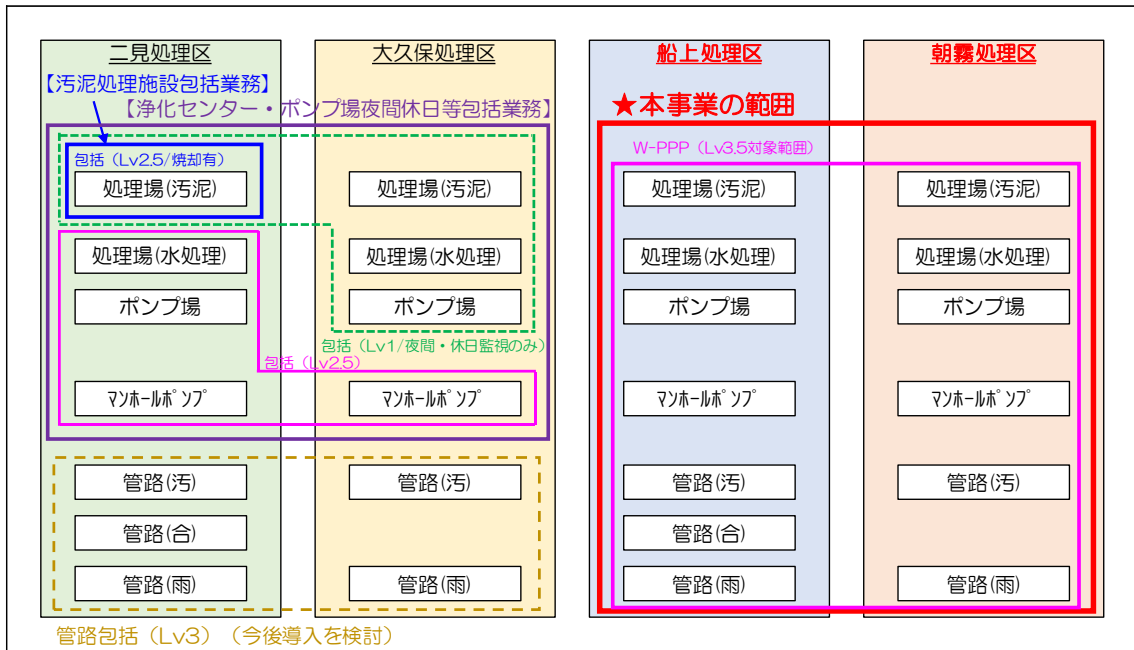


問 4-4 上記回答理由や補足説明についてご回答ください。
【自由記載欄】

回答省略

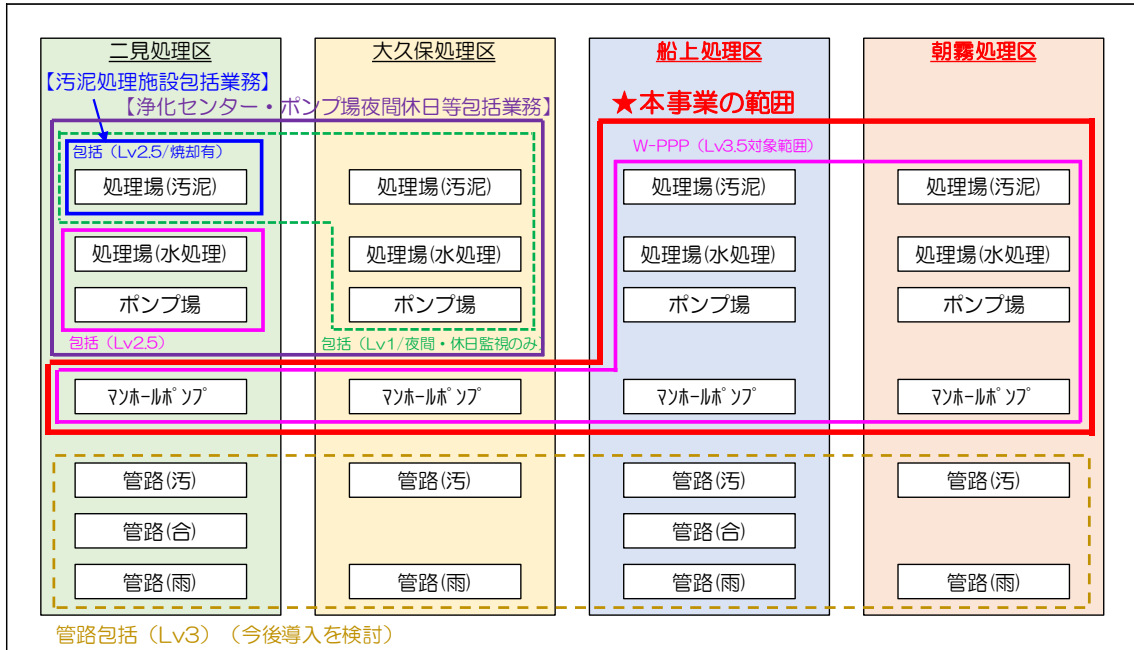
※問 4-1 において設定した各ケースの概要（対象施設及び対象業務）

【ケース①】



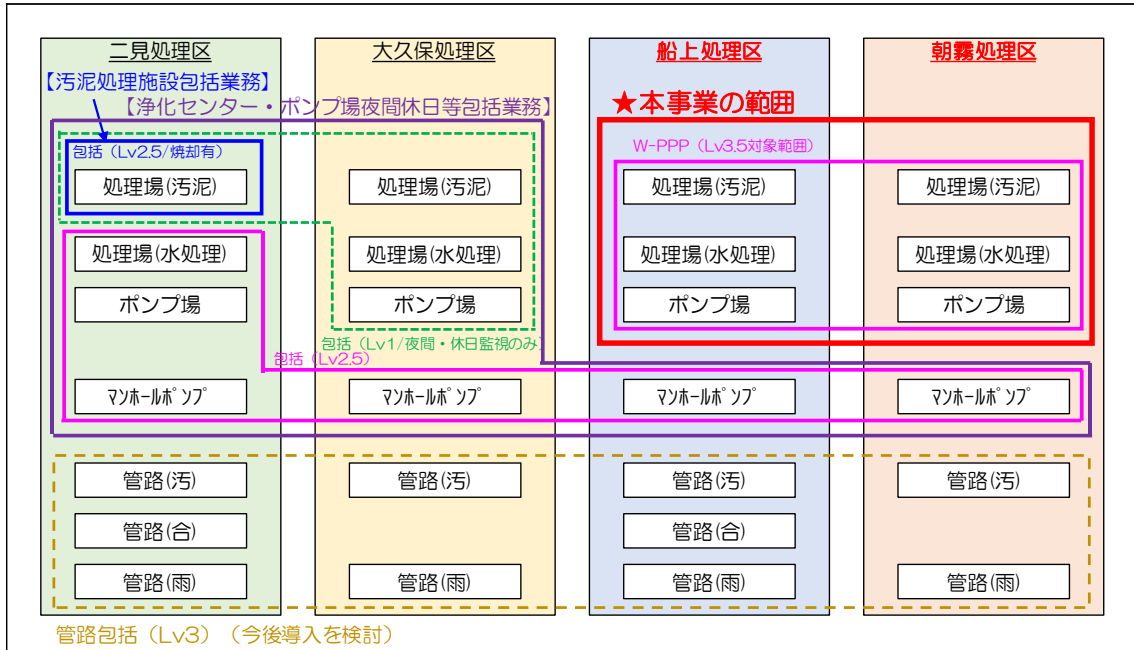
業務の形態	区分	処理区	対象施設	対象業務
W-PPP Lv3.5	共通	事業全体		統括管理 セルフモニタリング
	処理場 (水処理・汚泥処理) ポンプ場	朝霧 船上	朝霧浄化センター 船上浄化センター 朝霧ポンプ場 林ポンプ場	運転管理 保守管理 浚渫・清掃 ユーティリティ調達・管理
	マンホールポンプ	朝霧 船上	全施設	修繕 保全工事
	管路	朝霧 船上	全施設	更新計画案作成

【ケース②-1】



業務の形態	区分	処理区	対象施設	対象業務
W-PPP Lv3.5	共通	事業全体		統括管理 セルフモニタリング
	処理場 (水処理・汚泥処理) ポンプ場	朝霧 船上	朝霧浄化センター 船上浄化センター 朝霧ポンプ場 林ポンプ場	運転管理 保守管理 浚渫・清掃 ユーティリティ調達・管理
	マンホールポンプ	朝霧 船上 大久保 二見	全施設	修繕 保全工事 更新計画案作成

【ケース②-2】



業務の形態	区分	処理区	対象施設	対象業務
W-PPP Lv3.5	共通	事業全体		統括管理 セルフモニタリング
	処理場 (水処理・汚泥処理) ポンプ場	朝霧 船上	朝霧浄化センター 船上浄化センター 朝霧ポンプ場 林ポンプ場	運転管理 保守管理 浚渫・清掃 ユーティリティ調達・管理 修繕 保全工事 更新計画案作成

5 レベル3.5の形式（更新支援型、更新実施型）について									
<p>問5-1 本市では、処理場及びポンプ場施設（マンホールポンプ含む）の維持管理にウォーターPPP（レベル3.5）を導入する場合、更新支援型（CM方式は含まない）での実施を考えています。このことについてご回答ください。【いずれか1つ】</p> <p>a. 特に問題はない。 b. 問題がある。 c. わからない。</p>	<table border="1"> <tr><td>問題はない</td><td>35%</td></tr> <tr><td>問題がある</td><td>4%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>42%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>19%</td></tr> </table>	問題はない	35%	問題がある	4%	わからない	42%	無回答	19%
問題はない	35%								
問題がある	4%								
わからない	42%								
無回答	19%								
<p>問5-2 上記回答理由や補足説明についてご回答ください。 【自由記載欄】</p>	回答省略								
<p>問5-3 本市では、管路施設の維持管理にウォーターPPP（レベル3.5）を導入する場合、更新支援型（CM方式は含まない）での実施を考えています。このことについてご回答ください。【いずれか1つ】</p> <p>a. 特に問題はない。 b. 問題がある。 c. わからない。</p>	<table border="1"> <tr><td>問題はない</td><td>27%</td></tr> <tr><td>問題がある</td><td>0%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>54%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>19%</td></tr> </table>	問題はない	27%	問題がある	0%	わからない	54%	無回答	19%
問題はない	27%								
問題がある	0%								
わからない	54%								
無回答	19%								
<p>問5-4 上記回答理由や補足説明についてご回答ください。 【自由記載欄】</p>	回答省略								

6 ウォーターPPP（レベル3.5）の4要件について	
<p>ウォーターPPP（レベル3.5）の4要件について、参加意欲向上のための意見等があればご回答ください。</p>	
<p>問6-1 長期契約（原則10年）について 【自由記載欄】</p>	回答省略
<p>問6-2 性能発注について 【自由記載欄】</p>	回答省略
<p>問6-3 維持管理と更新の一体マネジメントについて 【自由記載欄】</p>	回答省略
<p>問6-4 プロフィットシェアについて 【自由記載欄】</p>	回答省略

7 市内業者の参画について	
<p>問7-1 市内業者が参入しやすい実施体制や公募上の要件（市内業者を構成企業に含めたSPCの設立を公募要件とする等）についてご意見や留意すべき事項についてご回答ください。【自由記載欄】</p>	回答省略

8 公募スケジュールについて

【現時点の想定スケジュール】

令和8年度：公募に向けた準備（書類・資料準備、官民対話等）

令和8年度末：公募開始

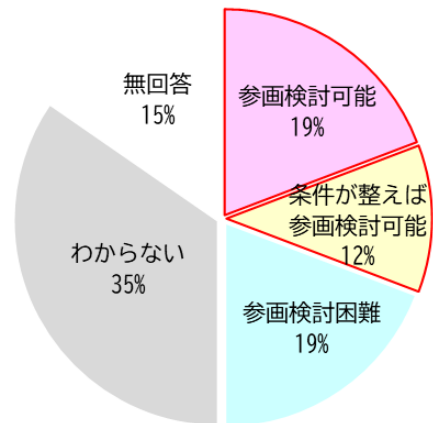
令和9年度：事業者選定、契約締結

令和10年度：事業開始

※今後の検討状況により変更となる可能性があります。

問8-1 想定する公募スケジュールにつきまして、事業者として参画検討する場合のお考えをご回答ください。【いずれか1つ】

- a. 参画検討可能
- b. 条件が整えば参画検討可能
- c. 参画検討は難しい
- d. わからない



問8-2 上記回答理由や補足説明をご自由にご回答ください。また、「b. 条件が整えば参画検討可能」と回答された方は、どういった条件であれば参画検討可能であるかご回答ください。【自由記載欄】

回答省略

9 公募時の必要資料について

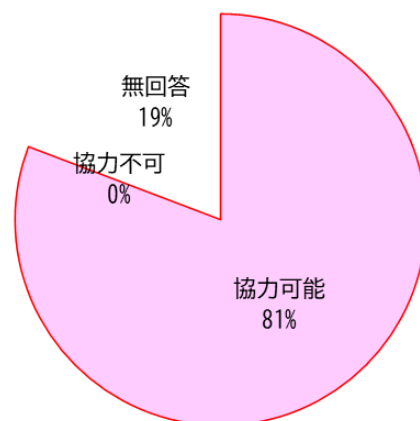
問9-1 ウォーターPPPで本事業を実施する場合、貴社が本事業への参画検討において必要な資料や情報についてご回答ください。【自由記載欄】

回答省略

10 今後の調査への協力可否について

問10-1 本サウンディング終了後、ご協力いただける企業に対して必要に応じて追加の対話（文書による照会を含む）やアンケート等を実施させていただくことがあります。ご協力いただけるか否かご回答ください。【いずれか1つ】

- a. 協力は可能である。
- b. 協力は難しい。



11 その他

問11-1 その他、ご意見や懸念点等がございましたら、ご回答ください。【自由記載欄】

回答省略